

第 18 回セラミド研究会学術集会

Japanese Society for Ceramides, the 18th meeting

<日時>

2025 年 9 月 4 日 (木)	13:00～17:25
2025 年 9 月 5 日 (金)	9:00～16:20

<会場>

北海道大学 学術交流会館

<ご案内>

【発表者】

○ご発表の先生へ

- ・講演にはご自身の PC をお使いいただきます，電源ケーブルを必ずご準備ください。
- ・映像出力端子は D-SUB mini 15 pin と HDMI です。それ以外の形状のものや Mac の場合は変換アダプターが必要です，必ずご持参ください。講演スライドの縦横比は 16 : 9 推奨です。
- ・PC 本体やコネクタ，アダプターに不具合があると講演に支障が生じます。PC ならびに関連部品が正常に動作することを，事前に十分ご確認ください。
- ・省電力設定（スリープ機能）やスクリーンセーバーの設定は事前に解除してください。また，発表者ツールの使用はご遠慮ください。講演当日の PC の不具合に備え，講演用ファイル（オリジナルファイルとその PDF ファイル）をコピーした USB メモリを必ずご持参ください。
- ・発表の 1 演題前に演者控え席にお越しいただき，ご自身の発表まで待機ください。
- ・一般講演は発表 10 分，質疑応答 5 分，招待講演および受賞講演は発表 35 分，質疑応答 5 分となります。時間厳守でよろしくお願い致します。
- ・質問は共通マイクから行いますので，各会場の先生もしくは座長からのご質問に口頭でお答えください。

【参加者へのお願い】

① 事前に参加登録された方

現地会場の受付で氏名と所属をお申し付けください。参加証を入れたホルダー，講演要旨集を受付で準備していますのでお渡しいたします。

② 当日に参加登録される方

会場の受付にて大会参加費をお支払いください。参加費をお支払いいただきましたら参加証とホルダー，講演要旨集をお渡しします。

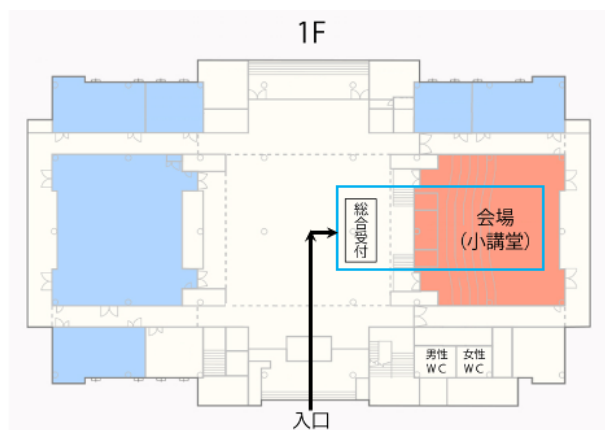
③ 懇親会に参加される方

懇親会への参加を希望された方には参加証にシールを張り付けいたします。懇親会場（ホテルマイステイズ札幌アспен）の会場入り口で懇親会費（9 千円）をお支払いください。

【会場へのアクセス, 館内マップ】



正門から入り左手側、
エルムの森という建物を
越えたところにあります。



入口を入って右手に受付と
会場 (小講堂) があります。

【懇親会会場へのアクセス】



◎タイムテーブル

第18回セラミド研究会学術集会プログラム

時間 時間	発表区分 発表区分	発表番号 発表番号	発表者 発表者	タイトル タイトル	議長 議長
9/4(木)					
12:00				受付	
13:00				開会挨拶	
13:10	招待講演	L-1	平林哲也	アシルセラミド代謝を基盤とした皮膚バリア形成と炎症応答	稲森
13:50	一般講演	O-1	小堀隆幸	セラミドおよびコレステロールを電荷した角質細胞間脂質モデルの特性評価	
14:05		O-2	小堀亮	非凸型セラミドのマイタロアレイによる遺伝子発現制御の検証	
14:20		O-3	本原真雄 秋山史成	成体マウスにおける脂肪酸エロンガーゼELOVL1欠損後の時間依存的な表皮セラミド組成変化と皮膚バリア異常 結合型セラミド・遊離型セラミドプロファイルと肌の外観・乾燥状態との相関解析	
14:35				休憩(15分)	
14:50	招待講演	L-2	Chih-Chiang Chan	A genetic platform to study SMPD4-associated microcephaly in Drosophila	花田 花田
15:30	一般講演	O-4	沖野望 沖野望	ラビリンチュラ類の細胞外小胞の解析 ラビリンチュラ類の細胞外小胞の解析	
15:45		O-5	劉彦青 劉彦青	The involvement of ceramide in sports-sensitive skin The involvement of ceramide in sports-sensitive skin	
16:00		O-6	茅川玄爾 石田賢哉	マウス表皮・酸性セラミダーゼ過剰発現で生じたアトピー性皮膚病はTH-17Cells/M2macrophages/IL-10連鎖でダニTh2アレルギーを誘発する マウス表皮・酸性セラミダーゼ過剰発現で生じたアトピー性皮膚病はTH-17Cells/M2macrophages/IL-10連鎖でダニTh2アレルギーを誘発する セラミド外用製剤による皮膚浸透性制御の検討	
16:15		O-7	石田賢哉	セラミド外用製剤による皮膚浸透性制御の検討	
16:30				休憩(15分)	
16:45	受賞講演	AL-1	井ノ口仁一	ガングリオシドGM3の生物学 過去・現在・未来	木原
18:00				懇親会	
9/5(金)					
9:00	受賞講演	AL-2	平林義雄	稀少グルコース化脂質の代謝と新機能	永沼
9:40	一般講演	O-8	秋山史成	結合型セラミド・遊離型セラミドの異なる新規結合型セラミド乾燥状態との相関解析	今井
9:55		O-9	米藤雄雄	成体マウスにおける脂肪酸エロンガーゼELOVL1欠損後の時間依存的な表皮セラミド組成変化と皮膚バリア異常	今井
10:10		L-3	光武進	スフィンゴ脂質の摂取が生体にも与える影響	
10:50				休憩(15分)	
11:05	招待講演	L-4	見市文香	腸管寄生原虫「赤痢アメーバ」が合成する超長鎖ジヒドロセラミドの役割	光武
11:45	一般講演	O-10	野坂奈生 五十嵐多美	アトピー性皮膚炎および乾癬モデルマウスにおける皮膚バリア機能低下とセラミド組成変化 β-ガラクトシルセラミドのタイトジャンクションの再生修復効果	
12:00		O-11	牧優香 野坂奈生	脂肪酸伸長酵素ELOVL1のS165F変異によって引き起こされる顕性遺伝性皮膚神経疾患の発症機序解明 アトピー性皮膚炎および乾癬モデルマウスにおける皮膚バリア機能低下とセラミド組成変化	
12:15		O-12	牧優香 森藤聖也	脂肪酸伸長酵素ELOVL1のS165F変異によって引き起こされる顕性遺伝性皮膚神経疾患の発症機序解明 スフィンゴミエリン含有食品の食用化とその評価マーカーの臨床への応用	
12:30				昼休憩(運営委員会)	
13:30	招待講演	L-5	森藤雅史	スフィンゴミエリン含有食品の食用化とその評価マーカーの臨床への応用	沖野
14:10	一般講演	O-13	湯山耕平 下田博司	食用キノコ由来のスフィンゴミエリン合成酵素阻害剤による食餌誘導性肥満マウスモデルにおける体重増加抑制 米由来グルコシルセラミドの免疫賦活に関する臨床効果	沖野
14:25		O-14	今井博之	ヒュ科ソルノゲイトウ属植物及びヒュ科アカザ亜科植物における スフィンゴ脂質について	
14:40		O-15	稲森啓一 稲森啓一	セラミド構造の多様性に基くスフィンゴ糖脂質によるTLR4活性化制御	大野
14:55				休憩(15分)	
15:10	招待講演	L-6	稲森啓一郎	セラミド構造の多様性に基くスフィンゴ糖脂質によるTLR4活性化制御	大野
15:50				総会、表彰式(YIA)、閉会挨拶	

◎プログラム(受付開始 12:00～)

《9月4日(木)》

13:00～13:10 【開会挨拶】

座長:稲森 啓一郎(東北医科薬科大学)

13:10～13:50 【招待講演 L-1】10

アシルセラミド代謝を基盤とした皮膚バリア形成と炎症応答

○平林 哲也

(東京都医学総合研究所)

13:50～14:05 【一般講演 O-1】11

セラミドおよびコレステロールを配合した角層細胞間脂質モデルの特性評価

○小幡 誉子¹・毛 樹¹・池内 由里¹・石田 賢哉²

(¹星薬科大学・²高砂香料工業)

14:05～14:20 【一般講演 O-2】12

非ヒト型セラミドのマイクロアレイによる遺伝子発現制御の検証

棚橋 亨太¹・○小堀 亮¹・北垣内 康二¹・荒河 純¹・木戸 春奈²・片倉 喜範²・
宮鍋 征克¹

(¹株式会社ジェヌイン R&D・²九州大学農学部)

14:20～14:35 【一般講演 O-3】13

結合型セラミド・遊離型セラミドプロファイルと肌の外観・乾燥状態との相関解析

○秋山 史成¹・高橋 夏海²・上田 悠人¹・多田 静乃¹・大野 祐介^{2,3}・
木原 章雄²・竹内 伸之¹

(¹大正製薬株式会社・²北海道大学・³順天堂大学)

—— 休憩(14:35～14:50) ——

座長:花田 賢太郎(国立感染症研究所)

14:50～15:30 【招待講演 L-2】14

A genetic platform to study SMPD4-associated microcephaly in Drosophila

○Chih-Chiang Chan

(Institute of Physiology, National Taiwan University)

15:30～15:45 【一般講演 O-4】15

ラビリントチュラ類の細胞外小胞の解析

矢崎 巽¹・石橋 洋平²・○沖野 望²

(¹九州大学大学院生物資源環境科学府・²九州大学大学院農学研究院)

15:45～16:00 【一般講演 O-5】16

The involvement of ceramide in sports-sensitive skin

○Yanqing Liu¹, Yanyun Ma², Fushuo Li¹, Ichiki Fukuda³, Junko Ishikawa³, Ritsuko Yamazaki¹,
Jiucun Wang², Kaori Toujou³, Kazuhiro Kaizu³

(¹Kao China Research Center, ²Fudan University, ³Kao Corp.)

16:00～16:15 【一般講演 O-6】17

マウス表皮・酸性セラミダーゼ過剰発現で生じたアトピー性皮膚は

TH-17Cells/M2macrophages/IL-10 連鎖でダニ Th2 アレルギーを誘発する

○芋川 玄爾¹・高田 真理子¹・Xiaonan Xie¹・指川(木村) 未歩²・

Hossain Md Razib²・小宮根 真弓²・大槻 マミ太郎²

(¹宇都宮大学・²自治医科大学)

16:15～16:30 【一般講演 O-7】18

セラミド外用製剤による皮膚浸透性制御の検討

○石田 賢哉¹・Kyong-Oh Shin²・Kyungho Park²・小幡 誉子³・内田 良一²

(¹高砂香料工業・²ハリム大学・³星薬科大学)

—— 休憩(16:30～16:45) ——

座長:木原 章雄(北海道大学薬学研究院)

16:45～17:25 【受賞講演 AL-1】19

ガングリオシド GM3 の生物学 過去・現在・未来

○井ノ口 仁一

(大阪大学大学院理学研究科附属フォアフロント研究センター)

—— 懇親会(18:00～) ——

《9月5日(金)》

座長:永沼 達郎(北海道大学薬学研究院)

9:00～9:40 【受賞講演 AL-2】20

稀少グルコース化脂質の代謝と新機能

○平林 義雄^{1,2}

(¹理化学研究所・開拓研究本部・²順天堂大学・環境医学研究所)

座長:今井 博之(甲南大学理工学部生物学科)

9:40～9:55 【一般講演 O-8】21

ヒト角質層における新規結合型セラミドの同定

○小嶋 あゆみ¹・杉山 拓海²・大野 祐介^{3,4}・木原 章雄^{1,2,3}

(¹北海道大学薬学部・²北海道大学大学院生命科学院・³北海道大学大学院薬学研究
院・⁴順天堂大学薬学部)

9:55～10:10 【一般講演 O-9】 ……22
成体マウスにおける脂肪酸エロンガーゼ *Elov11* 欠損後の時間依存的な表皮セラミド組成変化と皮膚バリア異常

平沼 大雅¹・佐々 貴之^{1,2,3}・○木原 章雄^{1,2}
(¹北海道大学薬学部・²北海道大学薬学研究院・³九州産業大学生命科学部)

10:10～10:50 【招待講演 L-3】 ……23
スフィンゴ脂質の摂取が生体に与える影響

○光武 進^{1,2}
(¹佐賀大学農学部・²佐賀大学大学院先進機能科学研究科)

—— 休憩(10:50～11:05) ——

座長:光武 進(佐賀大学農学部・佐賀大学大学院先進機能科学研究科)
11:05～11:45 【招待講演 L-4】 ……24
腸管寄生原虫“赤痢アメーバ”が合成する超長鎖ジヒドロセラミドの役割

○見市 文香
(長崎大学熱帯医学研究所共同研究室)

11:45～12:00 【一般講演 O-10】 ……25
 β -ガラクトシルセラミドのタイトジャンクションの再生修復効果

○五十嵐 多美¹・八木 政幸¹・市橋 正光²・芋川 玄爾³
(¹ロゼット株式会社・²医療法人社団秀博会・³宇都宮大学)

12:00～12:15 【一般講演 O-11】 ……26
アトピー性皮膚炎および乾癬モデルマウスにおける皮膚バリア機能低下とセラミド組成変化

○野坂 奈生¹・永沼 達郎^{1,2}・木原 章雄^{1,2}
(¹北大院生命・²北大院薬学)

12:15～12:30 【一般講演 O-12】 ……27
脂肪酸伸長酵素 *ELOVL1* の S165F 変異によって引き起こされる顕性遺伝性皮膚神経疾患の発症機序解明

○牧 優香¹・佐々 貴之^{2,3}・木原 章雄²
(¹北海道大学大学院生命科学院・²北海道大学大学院薬学研究院・³九州産業大学生命科学部)

—— 昼休憩・運営委員会(12:30～13:30) ——

座長:沖野 望(九州大学大学院農学研究院)
13:30～14:10 【招待講演 L-5】 ……28
スフィンゴミエリン含有食品の実用化とその評価マーカーの臨床への応用

○森藤 雅史
(株式会社 明治)

14:10～14:25 【一般講演 O-13】29

食用キノコ由来のスフィンゴミエリン合成酵素阻害剤による食餌誘導性肥満マウスモデルにおける体重増加抑制

Enkhmaa Enkhbat¹・○湯山 耕平¹・村井 勇太^{1,2}・孫 慧¹・
Mahadeva M. M. Swamy¹・須賀 好子¹・姉帯 正樹¹・門出 健次¹
(¹北海道大学先端生命科学研究院・²北海道大学農学研究院)

14:25～14:40 【一般講演 O-14】30

ヒユ科ツルノゲイトウ属植物及びヒユ科アカザ亜科植物におけるスフィンゴ脂質について

時水 洋和¹・石川 寿樹²・○今井 博之¹
(¹甲南大学 理工学部 生物学科・²埼玉大学大学院理工学研究科)

14:40～14:55 【一般講演 O-15】31

米由来グルコシルセラミドの免疫賦活に関する臨床効果

○下田 博司¹・宮坂 賢知¹・竹田 翔伍¹・飯尾 晋一郎²・鈴木 直子²・
柿沼 俊光²・馬場 亜沙美²・山本 和雄²
(¹オリザ油化株式会社・²株式会社オルトメディコ)

—— 休憩(14:55～15:10) ——

座長:大野 祐介(順天堂大学)

15:10～15:50 【招待講演 L-6】32

セラミド構造の多様性に基づくスフィンゴ糖脂質による TLR4 活性化制御

○稲森 啓一郎
(東北医科薬科大学分子生体膜研究所)

15:50～16:20 【総会・表彰式・閉会挨拶】